

2019（平成31）年度

2日〔\*\*〕

地理歴史（日本史）

注 意

1. 監督者の指示があるまでは、問題を見ないこと。
2. 問題は声を出して読まないこと。
3. 問題は19ページ、**①**、**②**、**③**、**④**、**⑤**の5題から成っている。
4. 問題や解答用紙に落丁、乱丁、汚損あるいは印刷不鮮明の箇所などがあれば、手をあげて監督者に申し出ること。内容に関する質問は受けつけない。
5. 解答は必ず**鉛筆**を使用し、**解答用紙**に記入すること。
6. すべての解答は、それぞれの解答欄の記号（㊦ ㊧ ㊨ …）にマークすること。
7. 訂正箇所は、消しゴムで**完全に消す**こと。
8. 解答に関係のない符号（? √など）や文字は記入しないこと。
9. 解答用紙を**折ったり汚したりしない**こと。
10. 人名・地名などについては、新字体に改めているところがある。

1 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

7世紀前期に成立した唐は、律令を基盤としてつくられた中央集権国家であり、<sup>(a)</sup>国家体制を充実させるとともに、インドやペルシアなどともさかんに交流を行った。当時の唐の都  はさまざまな国の人々が暮らし、国際都市といえるものであった。

朝廷は強大な帝国を築いた唐に人材を派遣し、そこから政治制度や文化を取り入れた。8世紀には、朝廷はたびたび遣唐使を派遣した。

奈良時代に入唐した有名な人物としては、吉備真備などがあげられる。吉備真備は、717年に唐に渡り、儒学・兵学・天文など数多くの学問を学び、唐でも名をあげた。735年に帰国し、同じ留学帰りの玄昉とともに  政権を支えた。

「天の原ふりさけ見れば春日なる 三笠の山にいでし月かも」の歌で知られる  は、吉備真備と同じく717年に入唐した。玄宗皇帝に仕え、李白・王維らの文人とも交わった。752年に帰国を許されたが、乗船した船がベトナムに流され、帰国はかなわず唐で死去した。

唐から来日した人物として有名なのは鑑真である。鑑真は753年の6回目の渡海でようやく薩摩に到着した。鑑真は東大寺に戒壇を設け、聖武太上天皇、<sup>(b)</sup>光明皇太后などに授戒した。

奈良時代の日本は唐のほかに、朝鮮半島や中国東北部とも交流があった。日本が従来どおり従属国として扱おうとしたため、新羅との関係が悪化することもあり、藤原仲麻呂政権の時には新羅遠征が計画されたこともあったが、民間交易は<sup>(c)</sup>奈良時代を通じてさかんに行われた。現在の中国東北部にあった渤海との関係は良好で、数多くの使節が往来し、交易では毛皮や薬用人参などがもたらされた。また、渤海の宮都跡からは日本の銭貨である  が出土するなど交流の証拠も知られている。

このような国外との交流を背景に、奈良時代には天平文化と呼ばれる国際色豊かな文化が花開いた。唐を介して広く西域やインド、ペルシアなどの文化も日本にもたらされ、正倉院には、螺鈿紫檀五絃琵琶、白瑠璃碗などがおさめられてい

る。宗教では仏教が重要な位置を占めるようになり、鎮護国家の思想<sup>(d)</sup>のもと、東大寺をはじめ、全国に国分寺・国分尼寺が建立されるなど仏教文化もますます発展した。また、国史・地誌<sup>(e)</sup>の編纂も行われ、現存最古の漢詩集『 5 』や『万葉集』など文芸の萌芽も見られるようになった。

問1 下線部(a)に関連して、日本の律令や格式に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 大宝律令は、刑部親王らにより編纂された。
- イ. 養老律令は、藤原不比等らにより編纂された。
- ウ. 養老七年の格とは、墾田永年私財法のことである。
- エ. 三代格式とは、弘仁格式・貞観格式・延喜格式のことである。

問2 空欄1について、適当なものを選びなさい。

- ア. 寧波                      イ. 長安                      ウ. 北京                      エ. 洛陽

問3 空欄2について、適当なものを選びなさい。

- ア. 橘諸兄                      イ. 藤原鎌足                      ウ. 橘奈良麻呂                      エ. 藤原百川

問4 空欄3について、適当なものを選びなさい。

- ア. 阿倍仲麻呂                      イ. 和気清麻呂                      ウ. 橘逸勢                      エ. 淡海三船

問5 下線部(b)に関連して、聖武天皇の在位期間中に起こった出来事として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 長屋王の変
- イ. 恭仁京への遷都
- ウ. 大仏開眼供養の儀式の実施
- エ. 藤原広嗣の乱

問6 下線部(c)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 藤原北家の出身である。
- イ. 光仁天皇を擁立して即位させた。
- ウ. 太政大臣・禪師の地位に就いた。
- エ. 天皇から恵美押勝の名を賜った。

問7 空欄4について、適当なものを選びなさい。

- ア. 洪武通宝      イ. 和同開珎      ウ. 乾元大宝      エ. 永樂通宝

問8 下線部(d)に関連して、奈良時代の仏教に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 法相宗の義淵は、玄昉や行基ら多くの門下を育てた。
- イ. 仏と神が本来同一であるとする神仏習合思想がおこった。
- ウ. 空也は、京において禅宗を広めた。
- エ. 道慈は入唐し、三論宗を学び帰国した。

問9 下線部(e)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 『日本書紀』は、舎人親王らにより編纂された。
- イ. 『日本書紀』は、神代から持統天皇に至る歴史を記している。
- ウ. 『古事記』は、稗田阿礼により筆録された。
- エ. 『古事記』は、神話・伝承から推古天皇に至るまでの物語である。

問10 空欄5について、適当なものを選びなさい。

- ア. 懐風藻      イ. 凌雲集      ウ. 経国集      エ. 文鏡秘府論



2 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

南北朝の動乱が収束し、室町幕府がようやく安定したのは3代将軍足利義満<sup>(a)</sup>の頃であった。義満は、1392年に南北朝を合体させることに成功した。また、義満は力を伸ばしてきた有力守護大名を次々と討伐した。

次の4代将軍義持の代は、上杉禅秀の乱が起こったことをのぞくと大きな混乱もなく過ぎたが、将軍職を継いだ5代将軍義量<sup>(b)</sup>が早世し、後継者問題が生じることになった。

後継者問題は、義持の弟で天台座主の義円<sup>(c)</sup>がくじ引きで選出され、還俗して6代将軍足利義教となることで解決した。義教は、反抗的な鎌倉公方 1 に討伐軍を送り、これを滅ぼすなど、後世「万人恐怖」と称せられるような政治を展開した。苛烈な政治に守護大名らは不満と不安を募らせ、ついに1441年に有力守護によって義教は殺害された。これにより幕府の権威もゆらぎはじめ、義教の死を契機に、数万人が大挙して京都を占拠するという 2 の徳政一揆が起こった。

8代将軍足利義政の時代になると、応仁の乱<sup>(b)</sup>が起こり、争いはその後全国に広がっていった。10年を超える戦いで京都は焼け野原となり幕府の権威は大きくゆらいだ。乱後、9代将軍足利義尚は将軍権力の回復に努めたが、1485年には山城の国一揆<sup>(c)</sup>が、1488年には加賀の一向一揆<sup>(d)</sup>が起こるなど幕府の権威衰退は明らかであり、義尚自身も1489年近江への遠征中に没した。

次の10代将軍足利義稹の代になると、 3 が堀越公方を滅ぼし、細川政元が将軍を廃する明応の政変<sup>(d)</sup>が起こるなど、将軍の権威はさらに失墜した。このように応仁の乱以後、日本は戦国時代に突入したとされている。

戦国時代には、軍事力・経済力をたくわえた戦国大名<sup>(d)</sup>が群雄割拠した。また、この時代には下剋上の風潮が一般化した。下剋上の典型例としては、明応の政変で足利将軍が管領細川氏に実権を奪われ、その細川氏が家臣の三好氏に、さらに三好氏が家臣の 4 に実権を奪われていったことがよくあげられる。

戦国大名たちは、領国の支配と発展のために、検地の実施、寄親・寄子制による家臣団の統制、城下町の建設、鉾山の開発、大河川の治水、基本法である分国<sup>(e)</sup>

法の制定など、積極的な施策を行った。

問1 下線部(a)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 太政大臣になった。
- イ. 明德の乱で大内義弘を討伐した。
- ウ. 京都室町に花の御所を造営した。
- エ. 諸国に課する段銭の徴収権を幕府の管轄下においた。

問2 空欄1について、適当なものを選びなさい。

- ア. 足利持氏      イ. 足利義氏      ウ. 足利氏満      エ. 足利基氏

問3 空欄2について、適当なものを選びなさい。

- ア. 嘉吉      イ. 播磨      ウ. 正長      エ. 寛正

問4 下線部(b)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 足輕がさかんに活躍した。
- イ. 細川勝元方が東軍であり、山名持豊方が西軍であった。
- ウ. この乱により、公家たちが続々と地方へ下った。
- エ. この乱により、將軍足利義政は西軍により殺害された。

問5 下線部(c)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 『大乘院寺社雑事記』には、山城の国人が平等院で会合をもったことが記されている。
- イ. 『大乘院日記目録』には、「日本開白以来、土民蜂起是れ初めなり」と記されている。
- ウ. この一揆は、南山城で争っていた細川氏両派の軍を国外に退去させた。
- エ. この一揆は、約100年間にわたり自治的支配を実現した。







3 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

18世紀の後半は、側用人・老中として田沼意次が政治を主導し、田沼時代とよばれる。田沼は商業資本を積極的に活用し、株仲間の広範な公認などの政策を押し進めた。しかし、浅間山の噴火など自然災害や天候不順に見舞われ 1 が長引き、また田沼の政治は賄賂政治であるとの批判もあって、民衆の不満が高まり、一揆が頻発するようになった。そのような中、1786年田沼は失脚した。

田沼失脚後も、各地で打ちこわしが続き、幕府の権威は動揺した。この局面を打破するため、11代将軍徳川家斉の補佐として老中に就任したのが松平定信である。定信は、祖父である徳川吉宗の享保の改革を手本として幕政の改革に着手した。定信の打ち出した経済政策は、幕府の財政基盤である農村の立て直しをめざす重農主義政策であり、倹約を徹底し、また困米など備荒貯蓄の奨励を積極的に行った。さらに、旗本救済のための 2、江戸に出稼ぎに来ていた農民の帰村を奨励する法令なども出した。こうした改革は幕政の引き締めや幕府の権威回復に一定の効果あげたものの、厳しい政策に庶民は反発し、「白河の清きに魚のすみかねてもとの濁りの田沼こひしき」のように改革を批判する狂歌が詠まれたりもした。

将軍家斉との対立が一因で、1793年に松平定信が失脚すると、将軍家斉が実権をにぎるようになった。この家斉の治世のうち、おもに文化・文政年間から天保の改革直前に死去するまでの時期は家斉の将軍在位中も含め大御所時代と呼ばれる。文化年間までは、寛政の改革の質素倹約の精神が受け継がれていたものの、後半の文政年間になると質の劣る貨幣が大量につくられ、また、将軍や大奥の生活も華やかなものになり、放漫財政に陥った。幕府の支出の増加は、商人らの経済活動をさかんにし、都市部では庶民文化が開花したが、その一方で、関東の周辺農村部では、多くの没落農民が生まれ治安の悪化が進行した。そのため幕府は、強大な警察権を行使できる 3 を1805年に設置して、治安の悪化に対応した。

1830年代には天保の飢饉とよばれる全国的な飢饉が発生した。米価は高騰し、各地で一揆・騒動が相次いだ。

(d)

徳川家斉が死去すると、12代将軍徳川家慶のもとで老中水野忠邦が天保の改革に着手した。忠邦は享保・寛政の改革にならい、厳しい儉約・風俗肅正を断行した。<sup>(e)</sup> 4 や出稼ぎ農民の強制的帰村などの改革も実施した。また、幕府の財政・防衛力強化のため、江戸・大坂周辺を直轄化する法令を出したが、多くの反対を受け、忠邦は老中を退いた。

これら江戸後期に実施された諸改革は、一定の成果をあげつつも幕藩体制を建て直すことはできなかった。なぜなら、商人の資金による生産の組織化や賃金労働が広がり、農村を財政基盤とする封建体制はゆきづまりをみせていたからである。民間レベルでも、報徳仕法を説いた二宮尊徳や、道徳と経済の調和を基本とする性学を広めた 5 のように農村復興を試みる取り組みは各地で続けられたが、資本を蓄積した豪農や、在郷商人の台頭をおさえることはできなかった。

問1 下線部(a)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 俵物や銅の輸出によって金銀の輸入をはかった。
- イ. 近藤重蔵を蝦夷地に派遣した。
- ウ. 印旛沼・手賀沼の干拓工事を始めた。
- エ. 計数銀貨である南鐐二朱銀を発行させた。

問2 空欄1について、適当なものを選びなさい。

- ア. 天和の飢饉    イ. 天明の飢饉    ウ. 寛永の飢饉    エ. 宝暦の飢饉

問3 下線部(b)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. 閑院宮家が創設された。
- イ. 石川島に人足寄場がつくられた。
- ウ. 定免法を改め、検見法を広く取り入れた。
- エ. 漢訳洋書の輸入制限がゆるめられた。

問4 空欄2について、適当なものを選びなさい。

- ア. 棄捐令                  イ. 上知令                  ウ. 上げ米の令          エ. 服忌令

問5 下線部(c)の終わり頃、アメリカ船モリソン号が来航するも砲撃され追い払われる事件が起こった。モリソン号が砲撃されたのは浦賀ともう一つはどこか、最も適当な場所を下の地図より選びなさい。



問6 空欄3について、適当なものを選びなさい。

- ア. 関東郡代    イ. 遠国奉行  
ウ. 関東取締出役    エ. 寺社奉行

問7 下線部(d)に関連して、1830年代に起こった一揆・騒動として、適当なものを選びなさい。

- ア. 郡内騒動    イ. 嘉助騒動  
ウ. 元文一揆    エ. 島原・天草一揆

問8 下線部(e)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 高価な菓子・料理などを禁じた。
- イ. 江戸にあった寄席を大幅に減らした。
- ウ. 江戸の歌舞伎を浅草のはずれに移した。
- エ. 洒落本作家山東京伝らを処罰した。

問9 空欄4について、適当なものを選びなさい。

- ア. 株仲間の解散
- イ. 異学の禁
- ウ. 足高の制の創設
- エ. 公事方御定書の制定

問10 空欄5について、適当なものを選びなさい。

- ア. 宮崎安貞
- イ. 大原幽学
- ウ. 安藤昌益
- エ. 石田梅岩

4 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

明治期から大正期の文化において、短期間で著しい発展と変化をみせたのが科学と美術である。

自然科学については、北里柴三郎が、世界的な業績を打ち立てた。また、北里に学んだ  は、赤痢菌を<sup>(a)</sup>発見した。東京帝国大学教授の鈴木梅太郎は、ビタミン研究の端緒をひらいた。在野の研究者では、独学で植物分類学を研究して『日本植物志図篇』をあらわし、近代日本の植物分類学を確立した  が有名である。

大正期に活躍した科学者としては、物理学の分野では  が著名である。彼は磁気歪現象の研究を行い、K S 磁石鋼を発明した。

美術、とりわけ絵画については、政府は明治時代初期には西洋美術を重視し、1876年に工部美術学校を設置した。これは日本最初の官立美術学校であり、画家の  、彫刻家のラギーザなどが招かれ、西洋美術の教授が行われた。しかし、フェノロサや岡倉天心の影響もあって、政府は日本美術復興の政策に転じ、工部美術学校を閉鎖し、1887年には西洋美術をのぞいた<sup>(c)</sup>東京美術学校が開校した。また、岡倉は、東京美術学校を辞職した後に日本美術院をつくった。一方で、西洋画の分野では、工部美術学校出身者たちによって<sup>(d)</sup>明治美術会が結成された。1896年には、黒田清輝らによって  が結成され、西洋画の普及・発展が促された。

大正期に入ると、政府が主催する文展の画風に対抗する西洋画団体がつくられた。この時期活躍した画家には、「麗子微笑」を描いた  や安井曾太郎、梅原龍三郎などがいる。また、大正期の日本画壇では、横山大観らが日本美術院を再興して、院展とよばれる展覧会を開き隆盛をみた。

問1 下線部(a)に関する記述として、適当でないものを選びなさい。

- ア. ペスト菌を発見した。
- イ. 破傷風血清療法を開発した。
- ウ. 梅毒スピロヘータの純粋培養に成功した。
- エ. 伝染病研究所の初代所長となった。

問2 空欄1について、適当なものを選びなさい。

- ア. 志賀潔
- イ. 江崎玲於奈
- ウ. 木村栄
- エ. 田中館愛橘

問3 下線部(b)に関する記述として、適当なものを選びなさい。

- ア. アドレナリンの抽出に成功した。
- イ. 脚気治療に有効な成分を発見した。
- ウ. 化学療法剤サルバルサンを発見した。
- エ. 種痘の普及に尽力した。

問4 空欄2について、適当なものを選びなさい。

- ア. 牧野富太郎
- イ. 朝永振一郎
- ウ. 新海竹太郎
- エ. 長岡半太郎

問5 空欄3について、適当なものを選びなさい。

- ア. 湯川秀樹
- イ. 本多光太郎
- ウ. 大森房吉
- エ. 秦佐八郎

問6 空欄4について、適当なものを選びなさい。

- ア. ビゴー
- イ. キヨソネ
- ウ. フォンタネージ
- エ. ベルツ

問7 下線部(c)の教授に就任予定であったが開校直前に亡くなった日本画家で、代表作「悲母観音」で有名な人物として、適当なものを選びなさい。

- ア. 橋本雅邦
- イ. 高村光雲
- ウ. 狩野芳崖
- エ. 高橋由一

問 8 下線部(d)を創設した人物として、適当なものを選びなさい。

- ア. 朝倉文夫      イ. 荻原守衛      ウ. 和田三造      エ. 浅井忠

問 9 空欄 5 について、適当なものを選びなさい。

- ア. 白馬会      イ. 二科会      ウ. 黎明会      エ. 春陽会

問10 空欄 6 について、適当なものを選びなさい。

- ア. 藤島武二      イ. 青木繁      ウ. 下村観山      エ. 岸田劉生





5 次の文章を読んで、以下の設問に答えなさい。

1955～57年に大型景気を迎えた日本経済は、長期にわたる発展をとげた。1955～73年にかけて年平均10%前後の経済成長をとげ、この期間は高度経済成長期と<sup>(a)</sup>  
<sup>(b)</sup>呼ばれている。

長く続いた高度経済成長にピリオドを打ったのは第1次石油危機であった。<sup>(c)</sup>  
1973年に  が勃発したことで世界的な原油高となり、安い石油の大量消費を産業の基盤としていた日本は、大きな打撃を受けた。当時はニクソン＝ショ<sup>(d)</sup>  
ック緩和のために大規模な金融緩和が行われており、インフレが進行していた。そのため、日本は不況とインフレが重なるスタグフレーションという状況に陥り、1974年には、戦後初のマイナス成長となった。また変動相場制のもとで、ドル安も進行していった。

第1次石油危機は世界経済全体に停滞をもたらしたが、日本は比較的スムーズに経済を成長軌道に復帰させることに成功し、1970年代末に起こった第2次石油危機も乗り切った。

第1次石油危機後の日本企業は減量経営<sup>(e)</sup>に努めた。ME（マイクロ＝エレクトロニクス）技術の導入、工場の自動化やオフィスの自動化も進み、減量経営を促進した。産業構造についても、造船、鉄鋼、石油化学のような資源多消費型の産業が停滞する一方、海外需要のある自動車、電気機械や、半導体・IC（集積回路）などのハイテク型の産業が急速に発達し、不況からの脱出を後押しした。

1980年には、日本が世界のGNP（国民総生産）に占める割合は  に達したとされる。また、1980年代には自動車や家電の輸出が拡大し、貿易黒字が<sup>(f)</sup>巨大化したため、欧米諸国との貿易摩擦が起こった。

1985年には、アメリカの財政赤字、貿易赤字を緩和するために、ドル高の是正の合意が5カ国蔵相・中央銀行総裁会議（G5）でなされた。いわゆる  合意である。これ以後、急激に円高・ドル安が進行し、日本の輸出産業は不況に陥った。一方、内需は拡大し、景気は次第に回復し、不況対策としてとられた超低金利政策のもと、余剰資金が土地や株式に流れ、バブル経済が起こった。また、アジアでは、  ・シンガポール・台湾・香港などが工業化

を進展させて経済成長をとげ、N I E S（新興工業経済地域）と呼ばれるようになった。

問1 下線部(a)に関連して、1956年度の『経済白書』に記された言葉として、適当なものを選びなさい。

- ア. 「投資が投資を呼ぶ」
- イ. 「戦後政治の総決算」
- ウ. 「日米新時代」
- エ. 「もはや戦後ではない」

問2 下線部(b)の時期に確立した日本的経営の特徴として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 年功序列型賃金
- イ. 産業別労働組合
- ウ. 労使協調
- エ. 終身雇用

問3 下線部(c)の発生時やその直後に日本で起こったこととして、適当なものを選びなさい。

- ア. 海外に生産拠点を移す企業が急増し、生産の空洞化が進んだ。
- イ. 石油から石炭へのエネルギー転換が急速に進んだ。
- ウ. 人々がトイレットペーパーなどの買いだめに殺到した。
- エ. 食糧メーデーが25万人を集めて、皇居前で行われた。

問4 空欄1について、適当なものを選びなさい。

- ア. イラン革命
- イ. 東欧革命
- ウ. スエズ戦争
- エ. 第4次中東戦争

問5 下線部(d)に関連して、1971年8月にニクソン大統領が発表した新経済政策として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 国際復興開発銀行の創設
- イ. 金とドルとの交換停止
- ウ. 10%の輸入課徴金の賦課
- エ. 90日間の賃金・物価の凍結

問6 下線部(e)の特徴として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 省エネルギー
- イ. パート労働への切りかえ
- ウ. 人員削減
- エ. 異業種企業の買収

問7 下線部(f)に関連して、1980年代に起こった出来事として、適当でないものを選びなさい。

- ア. 牛肉・オレンジの輸入自由化の決定
- イ. 防衛費のGNP1%枠の突破
- ウ. 電電公社・専売公社の民営化
- エ. 消費税の5%への引き上げ

問8 空欄2について、適当なものを選びなさい。

- ア. 約3%
- イ. 約10%
- ウ. 約20%
- エ. 約30%

問9 空欄3について、適当なものを選びなさい。

- ア. ワシントン
- イ. スミソニアン
- ウ. マルタ
- エ. プラザ

問10 空欄4について、適当なものを選びなさい。

- ア. インド
- イ. ミャンマー
- ウ. 大韓民国
- エ. フィリピン



# 地理歴史（日本史）解答用紙

2日 [ \*\* ]

1	問 1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 2 空欄 1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 3 空欄 2	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 4 空欄 3	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 5	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 7 空欄 4	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 8	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 9	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問10 空欄 5	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

20点

2	問 1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 2 空欄 1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 3 空欄 2	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 5	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 6 空欄 3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 7	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 8 空欄 4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 9	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 10	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

20点

3	問 1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 2 空欄 1	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 4 空欄 2	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 5	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 6 空欄 3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 7	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 8	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 9 空欄 4	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問10 空欄 5	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

20点

4	問 1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 2 空欄 1	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 3	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 4 空欄 2	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 5 空欄 3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 6 空欄 4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 7	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 8	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 9 空欄 5	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問10 空欄 6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>

20点

5	問 1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 4 空欄 1	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 5	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 6	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 7	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問 8 空欄 2	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
	問 9 空欄 3	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>
	問10 空欄 4	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input checked="" type="radio"/>	<input type="radio"/>

20点